

# 桑名市子ども・子育て支援事業計画

つながろうみんなのちから！発揮しよう くわなの子育て力！  
～すべては子どもの笑顔のために～

« 平成29年度 改訂版 »  
(案)

平成30年3月  
桑名市

# 目 次

桑名市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて	3
桑名市の子ども数	4
教育・保育の量の見込みと確保方策等	
（１）教育・保育の量の見込みと確保方策	5
地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策等	
（１）妊婦健康診査	6
（２）赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問事業）	6
（３）養育訪問支援事業	6
（４）利用者支援事業	7
（５）子育て支援センター事業（地域子育て支援拠点事業）	7
（６）一時保育（一時預かり事業（幼稚園在園児対象の預かり保育を除く））、 ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業 及び就学児を除く）	8
（７）一時預かり事業（幼稚園の在園児を対象とした預かり保育）	8
（８）延長保育事業	8
（９）病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応 強化事業）	9
（１０）子育て短期支援事業（ショートステイ）	9
（１１）ファミリー・サポート・センター事業（就学児）	9
（１２）学童保育（放課後児童クラブ）	10 ~ 12
（１３）放課後子ども総合プランの推進	12

# 桑名市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

## 1. 桑名市子ども・子育て支援事業計画について

### (1) 計画の位置づけ【支援事業計画第1章7頁再掲】

本計画は、子ども・子育て支援法第61条第1項に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画という位置づけを有し、同時に、次世代育成支援対策推進法第8条第1項に基づく市町村行動計画という位置づけもあわせて有しており、一体的に計画を策定するものです。

### (2) 計画の期間【支援事業計画第1章7頁再掲】

この計画の期間は、平成27年度～平成31年度の5年間とします。

		＜計画期間＞										
年 度		27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
桑名市子ども・子育て支援事業計画		→						→				
						見直し					見直し	

## 2. 桑名市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

### (1) 計画の進行管理【支援事業計画第7章131頁再掲】

計画の実効性を高め、目標を達成していくためには、計画の進捗状況を把握し、評価することが重要になります。

そこで、桑名市子ども・子育て会議において、本計画に基づいて行われる事業や取り組みが、目的どおりの成果を上げているかどうかを評価し、その結果を反映させることで、より実効性のある計画としていきます。

なお、「第6章 子ども・子育て支援の体制整備」における各事業の「量の見込み」「確保方策」は、実際の認定者数と計画上定めた「量の見込み」とが大きく乖離している等の場合には、必要に応じて計画期間の中間年である平成29年度を目安として計画の見直しを行います。

### (2) 中間見直しの実施

平成27年度、28年度の各事業の実績値と計画の「量の見込み」を比較し、数値が乖離している事業については、子ども・子育て会議の意見を聴き、平成30年度、31年度の「量の見込み」等の見直しを行っています。

# 桑名市の子ども数

## 1. 子ども数の推計【支援事業計画第6章117頁図表6-3再掲】

単位：人

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0歳				1,010	984	962	938	920
1歳				1,054	1,024	997	969	939
2歳				1,095	1,074	1,044	1,011	976
3歳				1,268	1,110	1,089	1,054	1,016
4歳				1,333	1,278	1,120	1,095	1,056
5歳				1,407	1,344	1,289	1,126	1,097
6歳				1,246	1,415	1,351	1,293	1,126
7歳				1,313	1,255	1,424	1,358	1,297
8歳				1,351	1,313	1,255	1,423	1,355
9歳				1,279	1,359	1,322	1,262	1,429
10歳				1,328	1,285	1,365	1,327	1,265
11歳				1,380	1,335	1,292	1,372	1,332
0～11歳				15,064	14,776	14,510	14,228	13,808
前年度対比増減数					▲ 288	▲ 266	▲ 282	▲ 420

## 2. 実際の子ども数の統計

単位：人

区分	平成24年 3月末	平成25年 3月末	平成26年 3月末	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	平成31年 3月末
0歳	1,237	1,185	1,209	1,172	1,164	1,107		
1歳	1,258	1,299	1,236	1,237	1,231	1,196		
2歳	1,336	1,275	1,314	1,270	1,254	1,229		
3歳	1,238	1,359	1,287	1,322	1,294	1,256		
4歳	1,318	1,227	1,375	1,298	1,334	1,286		
5歳	1,332	1,323	1,229	1,372	1,312	1,337		
6歳	1,287	1,333	1,324	1,247	1,382	1,302		
7歳	1,347	1,298	1,345	1,326	1,269	1,379		
8歳	1,418	1,359	1,306	1,356	1,335	1,282		
9歳	1,357	1,419	1,371	1,315	1,363	1,350		
10歳	1,466	1,365	1,423	1,360	1,325	1,371		
11歳	1,440	1,474	1,381	1,424	1,355	1,328		
0～11歳	16,034	15,916	15,800	15,699	15,618	15,423		
前年度対比増減数		▲ 118	▲ 116	▲ 101	▲ 81	▲ 195		

# 教育・保育の量の見込みと確保方策等

## (1) 教育・保育の量の見込みと確保方策

■中間見直しの有無	有
■中間見直しを行った理由	
<p>当初計画の「子ども数の推計」と「実際の子どもの数の統計」を比較すると、少子化傾向にあるものの減少数（減少率）が予測より鈍化している。一方、核家族化や女性の社会進出に伴う共働き世帯の増加等の社会的要因や、平成27年度の新制度に伴って保育の必要な事由が拡大されたことが要因となり、主に低年齢児の保育の需要が大幅に増加している。以上の理由により、当初見込みと実績値に乖離が生じていることから、量の見込み、確保方策とも見直しを行っている。</p>	

図表6-4 教育・保育の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

(単位：人)

平成27年度		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼稚園の利用 希望が強い	左記以外	0歳児	1・2歳児
①量の見込み			2,107	1,677	179	803
確保方策	②特定教育・保育施設（定員）		750	1,723	183	879
	③新制度の枠組みに入らない幼稚園（定員）		1,490			
(②+③) - ①			133	46	4	76
実績値			1,860	2,010	199	955

平成28年度		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼稚園の利用 希望が強い	左記以外	0歳児	1・2歳児
①量の見込み			1,961	1,561	174	785
確保方策	②特定教育・保育施設（定員）		720	1,723	183	879
	③新制度の枠組みに入らない幼稚園（定員）		1,490			
(②+③) - ①			249	162	9	94
実績値			1,902	1,904	224	991

平成29年度		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼稚園の利用 希望が強い	左記以外	0歳児	1・2歳児
①量の見込み			1,839	1,463	170	763
確保方策	②特定教育・保育施設（定員）		720	1,723	183	879
	③新制度の枠組みに入らない幼稚園（定員）		1,490			
(②+③) - ①			371	260	13	116

平成30年度		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼稚園の利用 希望が強い	左記以外	0歳児	1・2歳児
①量の見込み			1,721 →1,798	1,370 →1,809	166 →235	740 →995
確保方策	②特定教育・保育施設（定員）		660 →765	1,723 →1,819	183 →235	879 →995
	③新制度の枠組みに入らない幼稚園（定員）		1,490 →1,330			
・私立保育園が認定こども園に移行することに伴う受入数の増 ・小規模保育事業所が開設されることに伴う受入数の増						
(②+③) - ①			429 →297	353 →10	17 →0	139 →0

平成31年度		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼稚園の利用 希望が強い	左記以外	0歳児	1・2歳児
①量の見込み			1,666 →1,753	1,326 →1,766	163 →235	716 →995
確保方策	②特定教育・保育施設（定員）		660 →765	1,723 →1,819	183 →235	879 →995
	③新制度の枠組みに入らない幼稚園（定員）		1,490 →1,330			
・公立保育所の定員の見直しを検討						
(②+③) - ①			484 →342	397 →53	20 →0	163 →0

# 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策等

## (1) 妊婦健康診査

■中間見直しの有無	有
■中間見直しを行った理由 当初計画の「子ども数の推計」と「実際の子ども数の統計」を比較すると、少子化傾向にあるものの減少数（減少率）が予測より鈍化している。このような状況の中、妊婦健康診査の実施人数及び延べ検診回数が当初見込みを上回って実施されているため、実績値を踏まえ、量の見込みについて見直しを行っている。	

図表6-6 妊婦健康診査の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み	人数（人）	1,060	1,030	1,010	980 →1,090	950 →1,070
	1人あたり健診回数（回）	14	14	14	14	14
	延べ健診回数（回）	14,840	14,420	14,140	13,720 →15,260	13,300 →14,980
確保方策		実施場所：医療機関及び助産所機関 実施時期：通年実施 実施体制：医療機関及び助産所機関への委託 検査項目：国が定める基本的な妊婦健康診査項目				
実績値	人数（人）	1,256	1,181			
	延べ健診回数（回）	14,193	13,517			

## (2) 赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問事業）

■中間見直しの有無	有
■中間見直しを行った理由 当初計画の「子ども数の推計」と「実際の子ども数の統計」を比較すると、少子化傾向にあるものの減少数（減少率）が予測より鈍化している。このような状況の中、赤ちゃん訪問の訪問家庭の実数が当初見込みを上回って実施されているため、実績値を踏まえ、量の見込みについて見直しを行っている。	

図表6-7 赤ちゃん訪問の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み	訪問家庭の実数（件）	1,010	990	970	940 →1,050	920 →1,040
確保方策		実施体制：保健師等 実施機関：桑名市中央保健センター				
実績値	訪問家庭の実数（件）	1,103	1,119			

## (3) 養育訪問支援事業

■中間見直しの有無	有
■中間見直しを行った理由 養育支援が特に必要であると判断した家庭に対しては、引き続き訪問を実施し、養育に関する指導、助言等を行っていく必要がある。当該事業の実績値も増加傾向であることから、量の見込みについて見直しを行っている。	

図表6-8 養育訪問支援事業の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み	訪問家庭数（件）	55	55	55	55 →58	55 →60
	訪問延べ件数（件）	150	150	150	150 →155	150 →160
確保方策		実施体制：保健師等 実施機関：桑名市中央保健センター				
実績値	訪問家庭数（件）	35	58			
	訪問延べ件数（件）	66	114			

(4) 利用者支援事業

■中間見直しの有無	無
-----------	---

図表6-9 利用者支援事業の量の見込みと確保方策【区域：合併前の旧行政区】

①旧桑名地区

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み(か所)	3	3	3	3	3
確保方策(か所)	2	3	3	3	3
実績値(か所)	2	2			

②多度地区

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み(か所)	1	1	1	1	1
確保方策(か所)	0	1	1	1	1
実績値(か所)	0	0			

③長島地区

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み(か所)	1	1	1	1	1
確保方策(か所)	0	1	1	1	1
実績値(か所)	0	0			

(5) 子育て支援センター事業(地域子育て支援拠点事業)

■中間見直しの有無	有
-----------	---

■中間見直しを行った理由

当初計画では、人口減少を見据え、量の見込みは年々減少していくと予測していたが、子育て支援に対するニーズは高く、旧桑名地区においては、利用者数が増加傾向にある。平成29年度には子育て支援センターを商業施設内に移設し、利便性も向上していることから、利用者数はますます増加すると考えられる。子育てに対する不安、孤独感を軽減するためにも子育て支援センターの役割は非常に大きく、今後も利用促進を図っていくことから、旧桑名地区の量の見込みについて見直しを行っている。

図表6-10 子育て支援センター事業の量の見込みと確保方策【区域：合併前の旧行政区】

①旧桑名地区

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
量の見込み	延べ利用人数(人回/月)	7,093	6,924	6,751	6,563 →6,751	6,378 →6,751
	延べ利用人数(人回/年)	85,116	83,088	81,012	78,756 →81,012	76,536 →81,012
確保方策(か所)	5	5	5	5	5	
実績値	延べ利用人数(人回/年)	69,573	71,056			

②多度地区

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
量の見込み	延べ利用人数(人回/月)	540	538	536	531	526
	延べ利用人数(人回/年)	6,480	6,456	6,432	6,372	6,312
確保方策(か所)	1	1	1	1	1	
実績値	延べ利用人数(人回/年)	2,684	1,668			

③長島地区

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
量の見込み	延べ利用人数(人回/月)	1,612	1,539	1,467	1,393	1,322
	延べ利用人数(人回/年)	19,344	18,468	17,604	16,716	15,864
確保方策(か所)	1	1	1	1	1	
実績値	延べ利用人数(人回/年)	9,718	8,135			

(6) 一時保育（一時預かり事業（幼稚園在園児対象の預かり保育を除く））、ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業及び就学児を除く）

■中間見直しの有無	有
-----------	---

■中間見直しを行った理由  
 平成25年度に実施したニーズ調査を基に当初計画の量の見込みを算出しているが、実績値と乖離が生じている。ニーズ調査はアンケート形式で行っているため、実際のニーズと隔たりがあったとも考えられるが、平成27年度の新制度に伴い、保育の必要な事由が拡大されたことにより、保育所への入所が進んだことも要因の一つであると考えられる。大幅な乖離が生じていることから、実績値の推移を考慮し、量の見込み、確保方策とも見直しを行っている。

図表6-11 一時保育（一時預かり事業（幼稚園在園児対象の預かり保育を除く））、ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業及び就学児を除く）の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	延べ利用人数（人日）	22,282	21,309	20,433	19,559 →7,483	18,968 →7,365	
確保方策	②一時保育（一時預かり事業）	延べ利用人数（人日）	11,330	12,750	14,170	15,590 →8,390	17,010 →8,390
	③ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業及び就学児を除く）	延べ利用人数（人日）	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
(②+③) - ①		▲ 9,352	▲ 6,859	▲ 4,463	▲2,069 →2,807	42 →3,025	
実績値	②一時保育（一時預かり事業）	延べ利用人数（人日）	5,309	4,609			
	③ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業及び就学児を除く）	延べ利用人数（人日）	2,622	1,458			

(7) 一時預かり事業（幼稚園の在園児を対象とした預かり保育）

■中間見直しの有無	有
-----------	---

■中間見直しを行った理由  
 平成25年度に実施したニーズ調査を基に当初計画の量の見込みを算出しているが、実績値と乖離が生じている。ニーズ調査はアンケート形式で行っているため、実際のニーズと隔たりがあったとも考えられる。実施園数が増えたことに伴い、平成28年度実績値は前年度対比で増となっているが、今後は同程度の水準で推移するものと推測され、量の見込みの見直しを行っている。

図表6-12 一時預かり事業（幼稚園の在園児を対象とした預かり保育）の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	延べ利用人数（人日）	76,652	71,358	66,885	62,632 →51,977	60,608 →50,780
②確保方策	延べ利用人数（人日）	53,922	58,098	59,394	60,690	60,690
②-①		▲ 22,730	▲ 13,260	▲ 7,491	▲1,942 →8,713	82 →9,910
実績値	延べ利用人数（人日）	49,173	51,199			

(8) 延長保育事業

■中間見直しの有無	無
-----------	---

図表6-13 延長保育事業の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	延べ利用人数（人日）	584	555	529	504	489
②確保方策	延べ利用人数（人日）	584	555	529	504	489
②-①		0	0	0	0	0
実績値	延べ利用人数（人日）	468	489			



(9) 病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業）

■中間見直しの有無	有
■中間見直しを行った理由 病児保育事業は年々利用者数が増えており、平成29年度からは新たにはなまる病児保育所が開設されたため、今後も利用者数が増加していくと予測される。当初計画の量の見込みと実績値には乖離があるが、潜在的ニーズが高い事業であることも踏まえ、平成29年度計画値をベースにして量の見込み、確保方策とも見直しを行っている。	

図表6-14 病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業）の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	延べ利用人数（人日）	3,094	2,941	2,806	2,673 →2,806	2,591 →2,806
確保方策	②病児保育事業	1,640	1,640	1,640	2,640 →2,880	2,640 →2,880
	③ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業）	20	25	30	35 →95	40 →100
(②+③) - ①		▲ 1,434	▲ 1,276	▲ 1,136	2 →169	89 →174
実績値	②病児保育事業	790	887			
	③ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業）	72	92			

(10) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

■中間見直しの有無	有
■中間見直しを行った理由 病気や出産等、様々な理由から一時的に家庭での養育が困難な家庭が増加しており、実績値も増加傾向にあるため、量の見込みの見直しを行っている。	

図表6-15 子育て短期支援事業の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み	延べ利用人数（人日）	71	68	65	62 →68	60 →71
確保方策	延べ利用人数（人日）	365	365	365	365	365
	実施施設	エスペランス桑名、エスペランス四日市、里山学院、真盛学園、みどり自由学園、聖マツテヤ子供の家				
実績値	延べ利用人数（人日）	58	66			

(11) ファミリー・サポート・センター事業（就学児）

■中間見直しの有無	有
■中間見直しを行った理由 平成25年度に実施したニーズ調査を基に当初計画の量の見込みを算出しているが、実績値と乖離が生じている。ニーズ調査はアンケート形式で行っているため、実際のニーズと隔たりがあったとも考えられるが、平成28年度実績値は前年度対比で増となっており、学童保育の利用者数の増に伴い、当事業の送迎の利用等は増加している。よって、(12)学童保育（放課後児童クラブ）の量の見込みの増加率を考慮し、量の見込み、確保方策とも見直しを行っている。	

図表6-16 ファミリー・サポート・センター事業（就学児）の量の見込みと確保方策【区域：市全域】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	延べ利用人数（人日）	5,788	5,832	5,866	5,882 →2,478	5,725 →2,672
②確保方策	延べ利用人数（人日）	3,500	4,075	4,650	5,225 →2,478	5,800 →2,672
②-①		▲ 2,288	▲ 1,757	▲ 1,216	▲ 657 →0	75 →0
実績値	延べ利用人数（人日）	1,575	2,150			

(12) 学童保育（放課後児童クラブ）

■中間見直しの有無	有
-----------	---

<p>■中間見直しを行った理由</p> <p>市内の児童数は減少傾向にあるが、核家族化や女性の社会進出に伴う共働き世帯の増加等の理由により、学童保育（放課後児童クラブ）の需要は年々増加している。このような傾向は当面の間続くと予測されることから、各学童保育所の学年別入所者数の推移を基に、量の見込み、確保方策とも見直しを行っている。</p>
---

図表6-17 学童保育（放課後児童クラブ）の量の見込みと確保方策【区域：中学校ブロック】

[1]成徳中学校ブロック（大成・大和・深谷小学校区）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み（人）	65	66	67	68 →83	64 →93
②確保方策（人）	31	39	48	56 →83	64 →93
②-①	▲34	▲27	▲19	▲12 →0	0
実施事業所（平成29年4月現在）	大成学童保育所日の本クラブ（大成小学校区）、大和学童保育所あおぞら（大和小学校区）、大成第2学童保育所日の本クラブ（大成小学校区）				
備考	【参考】区域内関連施設・事業（平成29年4月現在） 深谷児童センター、深谷北児童センター、放課後子ども教室（大和小学校：週1回開催）				
4月1日現在の実績値（人）	39	64	74		

※学童保育（放課後児童クラブ）の確保方策（[1]~[9]共通）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規開設等による支援体制の強化</li> <li>・開設場所移転等による受入数の確保</li> </ul>
---------------------------------	---

[2]明正中学校ブロック（益世・在良・桑部小学校区）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み（人）	48	48	48	48 →86	45 →95
②確保方策（人）	51	51	51	51 →86	51 →95
②-①	3	3	3	3 →0	6 →0
実施事業所（平成29年4月現在）	学童保育所たんぼぼ学童クラブ（益世小学校区）、在良学童保育所日の本クラブ（在良小学校区）、桑部学童保育所日の本クラブ（桑部小学校区）				
4月1日現在の実績値（人）	49	54	74		

[3]光風中学校ブロック（精義・修徳小学校区）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み（人）	25	25	25	26 →48	24 →51
②確保方策（人）	39	39	39	39 →48	39 →51
②-①	14	14	14	13 →0	15 →0
実施事業所（平成29年4月現在）	学童保育所ウイング（修徳小学校区）				
備考	【参考】区域内関連施設・事業（平成29年4月現在） 放課後子ども教室（精義小学校：週1回開催、修徳小学校：週1回開催）				
4月1日現在の実績値（人）	38	39	45		

[4]陽和中学校ブロック（日進・立教・城南小学校区）

区分	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み（人）	96	96	95	93 →123	88 →126
②確保方策（人）	90	90	90	90 →123	90 →126
②-①	▲6	▲6	▲5	▲3 →0	2 →0
実施事業所（平成29年4月現在）	児童クラブくわなっ子（日進小学校区）、ひまわり学童クラブ（日進小学校区）、学童保育所シルバーなかよし（立教小学校区）、放課後サークルみえちゃん家（城南小学校区）				
4月1日現在の実績値（人）	101	104	116		
備考	【参考】区域内関連施設・事業（平成29年4月現在） 放課後子ども教室（城南小学校：週1回開催）				

[5]正和中学校ブロック（七和・久米小学校区）

区分	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み（人）	41	42	42	42 →70	39 →75
②確保方策（人）	55	55	55	55 →70	55 →75
②-①	14	13	13	13 →0	16 →0
実施事業所（平成29年4月現在）	七和学童クラブ（七和小学校区）、久米学童保育所「げんき」（久米小学校区）				
4月1日現在の実績値（人）	61	68	65		

[6]陵成中学校ブロック（大山田東・大山田南・藤が丘小学校区）

区分	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み（人）	127	133	138	144 →187	141 →223
②確保方策（人）	127	131	134	138 →187	141 →223
②-①	0	▲2	▲4	▲6 →0	0
実施事業所（平成29年4月現在）	大山田東学童保育所じゃんぼ（大山田東小学校区）、大山田東学童保育所じゃんぼⅡ（大山田東小学校区）、大山田南学童保育所クレヨン（大山田南小学校区）、児童クラブパンの木（藤が丘小学校区）				
備考	【参考】区域内関連施設・事業（平成29年4月現在） 放課後子ども教室（藤が丘小学校：週4回開催）				
4月1日現在の実績値（人）	139	166	172		

[7]光陵中学校ブロック（大山田北・大山田西・星見ヶ丘小学校区）

区分	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み（人）	144	145	145	145 →116	136 →119
②確保方策（人）	100	109	118	127	136
②-①	▲44	▲36	▲27	▲18 →11	0 →17
実施事業所（平成29年4月現在）	大山田学童保育所コスモスクラブ（大山田北小学校区）、星見ヶ丘学童保育所太陽の子（星見ヶ丘小学校区）				
備考	【参考】区域内関連施設・事業（平成29年4月現在） 放課後子ども教室（星見ヶ丘小学校：週5回開催）				
4月1日現在の実績値（人）	106	113	114		

[8]多度中学校ブロック（多度東・多度中・多度北・多度青葉小学校区）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み（人）	21	22	23	23 →58	22 →64
②確保方策（人）	26	26	26	26 →58	26 →64
②-①	5	4	3	3 →0	4 →0
実施事業所（平成29年4月現在）	多度学童保育所うりんこ（多度中小学校区）、多度第2学童保育所（多度中小学校区）				
備考	【参考】区域内関連施設・事業（平成29年4月現在） 放課後子ども教室（多度青葉小学校：週3回開催、多度東小学校：週1回開催）				
4月1日現在の実績値（人）	32	39	51		

[9]長島中学校ブロック（長島北部・長島中部・伊曾島小学校区）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み（人）	85	84	83	82 →139	75 →135
②確保方策（人）	105	105	105	105 →139	105 →135
②-①	20	21	22	23 →0	30 →0
実施事業所（平成29年4月現在）	学童保育所どんぐり（長島中部小学校区）、長島中部学童保育所レインポー（長島中部小学校区）、放課後児童クラブレインポー駅前（長島中部小学校区）、学童保育所ほっぷ（長島北部小学校区）、放課後児童クラブはなまる学童保育所（伊曾島小学校区）				
備考	【参考】区域内関連施設・事業（平成29年4月現在） 放課後子ども教室（伊曾島小学校：週1回開催）				
4月1日現在の実績値（人）	95	143	131		

(13) 放課後子ども総合プランの推進

■中間見直しの有無  有

■中間見直しを行った理由  
 (12) 学童保育（放課後児童クラブ）の確保方策の見直しを行ったことに伴い、平成31年度の目標事業量の見直しを行っている。

[1]学童保育（放課後児童クラブ）の平成31年度に達成されるべき目標事業量

	平成25年度の 利用人数	平成31年度の 目標事業量	備考
学童保育所 （放課後児童クラブ）	517人	707人 →998人	目標事業量は、(12) [1]~[9]の確保方策を集計したもの
実績値 （平成29年4月1日現在）	842人		

[2]放課後子ども教室の平成31年度までの整備計画

	平成26年4月 現在の箇所数	平成31年度の 目標箇所数	備考
放課後子ども教室	7か所	10か所	詳細については、支援事業計画P102を参照
実績値 （平成29年4月1日現在）	9か所		